

令和2年度長野県高校総体代替バドミントン競技大会開催

感染防止対策共通事項（令和2年6月22日現在版）

1、参加者の健康観察の実施

- 1) 参加者(選手・役員・顧問・補助員・学校関係者等)の、2週間前までの健康状態を確認する。日本協会作成の『観察状態確認シート・長野県高体連専門部版』を利用。選手・補助員・学校職員は、団体版を使用。個人(マスコミ・写真会社等、入場許可者)は個人版を大会当日、会場受付で提出。

2、消毒について

- 1) 各競技会場入口に手指用消毒用を設置し、消毒を行う。可能であれば、フロア入り口にも設置することが望ましい。
- 2) 競技終了後、競技器具等、使用物品の消毒を行う。
- 3) 可能な範囲で、トイレなど、多くの参加者が使用する箇所の定期的な消毒を行う。
以上の消毒等の作業は、職員が行う。

3、大会会場・換気について

- 1) 更衣室は使用禁止にする。
- 2) 会場の各ドアは、可能な限り常時開放する。
- 3) 観客席等の窓は常時開放し、プレーに差し支えない場合は、暗幕も解放する。
- 4) マッチ途中でも一時マッチを止め、定期的に全面換気を行う。この場合は事前に時刻の予告等を行う。

4、ギャラリーでの行動について

- 1) ギャラリー座席は、可能な限り、前後左右を1席空けて着席する。
- 2) プレーヤー以外はマスクを着用する。
- 3) 大声を出した応援はしない。拍手のみ。
- 4) 昼食を取る場合は、できる限り屋外で、距離をとり食事をする。
- 5) フェンスでの応援はしない。

5、競技会場(フロア)について

- 1) コートサイドに選手用カゴは置かない。必要であればバッグ等をコートサイドに持参し、その中にドリンクも含め納める。
- 2) コーチングシートは設置しない。

6、競技について

- 1) プレーヤーは、マスクを着用しない（任意）。
- 2) トス時、マッチ終了後の握手はしない。
- 3) ダブルスにおいてパートナーにシャトルを渡す場合は、直接手で渡さない。
- 4) ハイタッチは行わない。
- 5) シャトルを交換する場合は、コートサイドに事前に置かれているシャトルを各自で取り、コートサイドの籠に使用済みを入れる。
- 6) コーチングを行う場合は、ソーシャルディスタンスを確保する。
- 7) 円陣等を行わない。

7、審判・線審について

- 1) 審判・線審、得点係(設ける場合)は、マスクを着用する。参加人数を少なくできるのであれば、2審制でも良い。
- 2) 線審のコールはしない。
- 3) 主審は、得点係がいる場合は、ポイントをコールしなくて良い。

8、大会参加者全般

- 1) 会場来場者は、マスクの着用を原則とする。本部で、予備を準備する。
- 2) 来場者は、基本的に無観客とする。
- 3) 各校、顧問以外の来場者の人数の限定。卒業アルバム用写真の業者等は事前に申請を行い、当日、受付時に『健康状態観察シート(個人版)』を本部に提出してもらう。※マスコミ等、当日対応の場合も同様に、提出してもらう。

9、その他

- 1) 各会場での感染防止対策の規定がある場合は、それに従い実施する。
- 2) 各校の集合等は、各校毎なるべく分散し、間隔を取って整列し行う。
- 3) 各地区ごとの感染対策事項に従う。

参考

- ◇日本バドミントン協会「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン」6/16付
- ◇日本スポーツ協会「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大防止ガイドライン」5/14付
- ◇長野県教育委員会事務局スポーツ課「各種大会の開催に向けた留意事項」